



雜詠

白銀の瀬に光あり夏木立  
 梅雨晴や柳のたるゝ撒水車  
 ふと寄りし山の温泉宿に春の月

丹羽好日子

西歐の或る都にて

ジャズの街長き薄暮でありにけり

宮古の町

朝霧の街を豆屋のふれて來る

東北本線の車窓

山遠く秋の田の面の明るさよ

山晴れの朝の紅葉見温泉にひたる

北上の平野の桑の皆黄なる

峯の木肌あらはに紅葉時雨れけり